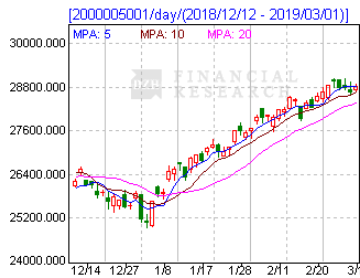


中国株ウィークリーレポート

2019/3/4

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	18年末株価
NYダウ	26,026.32	110.32	0.43	-0.02	11.57	23,327.46
NASDAQ	7,595.35	62.82	0.83	0.90	14.47	6,635.28
日経225	21,602.69	217.53	1.02	0.83	7.93	20,014.77
上海総合	2,994.01	53.05	1.80	6.77	20.05	2,493.90
滬深300 (CSI300)	3,749.71	80.34	2.19	6.52	24.55	3,010.65
ハンセン	28,812.17	178.99	0.63	-0.01	11.48	25,845.70
中国企業	11,506.94	139.49	1.23	0.70	13.65	10,124.75

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.01%安とほぼ横ばい、上海総合指数は6.8%高

香港市場ではハンセン指数が週間で0.01%安とほぼ横ばい。週初は米中通商問題を巡り追加関税の先送りが決まったことを好感した買いが先行したが、その後は高値警戒感から利益確定売りが優勢。29000ポイントを上回る水準では上値の重さが意識された。本土市場では上海総合指数が週間で6.8%高と大幅に8週続伸。週間の上昇率としては3年9カ月ぶりの大きさとなった。米中交渉の進展で地合いが改善。MSCIによるA株組み入れ比率の引き上げ決定を受け、海外からの資金流入期待も相場の押し上げ要因となった。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、年初からの上昇で高値警戒感

香港市場は上値の重い展開が予想される。ハンセン指数は年初からの上昇率が10%に達し、節目の29000ポイントを前に上値の重さが意識されている。中国では全国人民代表大会が5日に開幕し、投資家の関心は李克強首相の政府活動報告に集まる。今年の成長率目標が前年までの6.5%前後から引き下げられる公算が大きく、様子見姿勢が強まる可能性がある。本土市場も上値の重い展開となりそうだ。上海総合指数の年初からの上昇率は20%に達し、節目の3000ポイントを上回る水準では利益確定売りが出やすいと思われる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国人寿(02628)	22.80	7.55
2 中国平安(02318)	84.25	5.31
3 中国生物製薬(01177)	6.84	3.95
4 香港証券取引所(00388)	275.40	3.22
5 AIAグループ(01299)	79.00	3.20
6 ファイナ・ユニコム(00762)	9.71	2.32
7 ハンセン銀行(00011)	194.90	1.94
8 申洲国際集団(02313)	102.50	1.79
9 中国銀行(03988)	3.67	1.66
10 Link REIT(00823)	90.10	1.12

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 瑞声科技(02018)	47.10	-20.97
2 万洲国際(00288)	7.07	-10.39
3 華潤電力控股(00836)	14.68	-6.26
4 新世界発展(00017)	12.56	-5.71
5 銀河娛樂(00027)	54.40	-4.81
6 長江実業地産(01113)	64.05	-4.12
7 舜宇光学科技(02382)	94.80	-4.10
8 中電控股(00002)	93.30	-3.67
9 華潤置地(01109)	29.80	-3.40
10 新鴻基地産(00016)	129.30	-3.22

▼今週の主なイベント

- 3月5日(火) 【中国】全国人民代表大会開幕
- 3月8日(金) 【中国】貿易統計(2月)
- 【米国】雇用統計(2月)

▼今週の期待材料

- ◆米紙が27日ごろ米中首脳会談を開催と報道、正式合意されれば制裁関税が撤廃される見通し
- ◆MSCIがA株組み入れ比率を3段階に分けて引き上げることを決定、海外からの資金流入期待が高まる公算
- ◆中国で全国人民代表大会が3月5日に開幕、大規模減税など景気対策への期待が高まる可能性も

▼今週の懸念材料

- ◆5日に李克強首相が政府活動報告を発表、経済成長率目標を引き下げた場合は警戒感が高まる可能性も
- ◆中国の2月の製造業PMIが前月より0.3ポイント低い49.2に下落、16年2月以来の低水準に
- ◆中国政府による農家への農業補助金問題、WTOの紛争処理小委員会が米側の主張を認め不当との判断

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 創科実業(00669): 6日に18年12月本決算を発表、市場予想は19%増益
- ☆ 越秀交通基建(01052): 1月の通行料収入が14%増加、1日平均車両通行量は32%増
- ☆ 華潤セメント(01313): 8日に18年12月本決算を発表、市場予想は125%増益
- ☆ 広州富力地産(02777): 2月の不動産販売額は4%増を確保、1-2月は5%増
- ☆ 洛陽モリブデン(03993): 蘭ベースメタル企業買収計画、中伯当局の審査通過
- ★ 香港鉄路(00066): 7日に18年12月本決算を発表、市場予想は34%減益
- ★ 国美零售(00493): 18年12月本決算は42億-49億円の赤字見通し
- ★ 九龍倉置業地産(01997): 5日に18年12月本決算を発表、市場予想は43%減益
- ★ 京信通信(02342): 18年12月本決算は赤字転落の見通し、研究開発費増加など響く
- ★ 高キン零售(06808): 18年12月本決算は7%減益、市場予想下回る

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。